

2024 年度事業計画

一般社団法人生活情報基盤研究機構

昨事業年度の評価と今事業年度での重点項目

2023年度は、組織づくりおよび法人としての基礎的な項目や、ネットワークなど基本的なインフラなどの準備で時間がかかったため、2024年度は組織の活性化および、より具体的なプロジェクトの進展に力を入れてまいります。

重点項目

- 正構成員以上の役割分担、責任の所在を明確化する
→ 誰が何をするか十分に割り振れていないため、責任の所在が分からなくなっている仕事があり、必ず誰かが責任をもって必要な仕事をすべてできるように、割り振りを行う。
- 進捗状況の共有
→ 組織のメンバーでも、誰が何をやっているか把握していないことがよくあるため、プロジェクトマネジメントソフトを活用し、進捗状況を常に共有し、共同で作業を進められる環境を整える。
- 短期的（1か月）、中期的（数か月）、長期的（1年以上）の目標設定及び達成確認
→ プロジェクトマネジメントソフトなどで、適切なマイルストーン等を設定し、実施状況を確認する。
- 内部での情報共有および適正な情報公開（広報）を活発に行う
→ 業務に必要な知識や情報などの共有、現場の教育を適切に実施し、また、成果物や実施状況などを外部に積極的に広報する。
- 動けるメンバーの確保
→ 既存のメンバーが適切に業務に携われるように、アサインを積極的に行い、また、新規メンバーあるいは協力者の確保も必要に応じて行う。
- 各構成員のスキルアップ
→ 既存のメンバーに対し、業務遂行に必要な知識やスキルなどの向上のため、積極的に学習や、資格の取得などを促進する。
- 予算の見直し
→ 必要な事業を行うための予算が適正であるかを常に確認、見直しを行い、コストの透明化および最適化を図ることで、よりさまざまな事業に経費を割けるようにする。
- とりあえずいろいろなプロジェクトをやってみる
→ 参加者に対して、組織として提供できるものを明らかにし、その中でアイデアを募集し、積極的にさまざまなことに取り組むことを促し、新たなプロジェクトへの挑戦の機会を増やす。

情報共有と情報公開（広報）

専門用語が伝わるようなコミュニケーションに重点的に取り組みます。メンバー向けに、必要最低限の知識のインプットを行えるようにするほか、成果物を外部に公開します。

また、メンバーが取り組んでいることを積極的に公開の形でアウトプットする機会を増やします。

主なプロジェクト予定

本機構で実施するプロジェクトはすべて、基本的な成果物を公開し、ソフトウェアの場合は、オープンソース(フリー/自由ソフトウェア)として共有することを原則とし、また、実施状況や組織の運営およびインフラなどに関する情報を積極的に公開します。

ネットワークおよびインフラ

ネットワークおよびインフラは、他の事業をやる上で基盤になるものなので、質を確保しつつ、大きなコストがかかるものなので、費用の適正化を図ります。クラウドサーバやルータなどの統廃合などを行います。

組織のメンバーが業務を進める上で、簡便にネットワーク基盤を利用できるような VPN などの仕組みを整えてまいります。

プログラミング言語系

プログラミング言語に関する研究を進め、実験的言語やランタイムなど成果物を随時公開してまいります。SNS の開発など、他のプロジェクトとの相互的な進展も含め、活用できるような枠組みを整えてまいります。

簡易会計ソフト

補助的な目的で、公益法人会計基準に準拠した、一般社団法人向けの簡易的な会計ソフトの開発を行います。成果物は随時外部に公開します。

ソーシャルメディア基盤の研究開発

短中期的には、さまざまな形の SNS の模索のひとつとして、メモ帳型 SNS で、電子署名や暗号化、グループでの共有など基本的な暗号 SNS の機能を備えたもので、さまざまな組織などでのマネジメントに活用できるものを開発します。

長期的には、ソーシャルメディアのさまざまな要素がシンプルに統合されたもので実用性の高いものの形を模索してまいります。

メディア制作

電子書籍や動画などの媒体で、参加者のもつ、あるいは学習したスキルや知識の共有や、一般市民の知識の向上につながる成果物の共有などを行います。学術や文化的活動の広報物、成果物等の公表や配布を支援します。

独立ラボの「応用ウィキ研究所」の進めるウィキシステム基盤の活用も検討し、情報を共有するための基盤を整備します。

寄附金収入の拡大および新規構成員の募集

よりさまざまな、情報基盤を活かした公益に資する事業を行えるようにするため、寄付を気軽に行えるような環境や社会のニーズに応えるための事業の公募やアイデア募集、成果物の公表や広報などを行い、新規構成員を増やすことで、人的資源の拡大も図ります。

予算書

2024 年度予算

一般社団法人生活情報基盤研究機構

(1) 經常収益	
受取会費	45,000
事業収益	0
受取補助金等	0
受取寄付金等	170,000
雑収益	1,000
經常収益計	216,000
(2) 經常費用	
事業費	215,000
通信費	203,000
寄付金	12,000
管理費	0
租税公課	0
經常費用計	215,000
評価損益等調整前当期經常増減額	1,000
基本財産評価損益等	0
特定資産評価損益等	0
投資有価証券評価損益等	0
評価損益等計	0
当期經常増減額	1,000
期首正味財産残高	80,207
期末正味財産残高	81,207